

11、自治労連・片山代議員

女性部の立場から発言。大会でもディーセントワークが提起されたが、特にジェンダーについて発言する。男女の役割分担意識ではなく、男女平等に働き方の上に、同一労働、同一賃金を保障していくのが全労連の提起しているディーセントワークだ。男女の賃金格差は資料を見ても明らかなように、女性は男性の賃金の7割であり、女性差別はILO勧告でも指摘されている。日本の差別撤廃条約の批准率は低く2009年8月に委員会が開かれ、2年かけて調査がされているが、男女平等指数は60%台であり、トルコと同じ水準と言われている。女性が社会進出を保障する仕組みが必要と思う。女性部も活動を休んでいたが、9月18日に大会を開くことになった。大会と同時に、職場ではセクハラが多いことから「STOPセクハラ・NOパワハラ」をテーマに学習会を開く、男性の参加を呼び掛ける。自治研集会でも男女平等の分科会を開くのでご参加を。